

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移 C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト		設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析
指	標		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向
産業戦略指標													
工業出荷額		H25.7	6.1兆円	H24年	6.8兆円	H25年	6.5兆円	H26年	集計中	H27年	年間7兆円以上 <10%増> (H28年)	B	H26年は、計画策定時(H24)に比べて、全国の5.7%増加に対して、それを上回る7.1%の増加。産業中分類別では、鉄鋼の13.5%の増加に対して、石油が27.4%の減少。  目標達成に向けて、産業戦略の推進等、産業界と一体となって産業振興の取組みを強化する。
新規投資 (企業誘致・規模拡大投資)		H25.7	51件	H24年	54件	H25年	42件 (累計96件)	H26年	48件 (累計144件)	H27年	4年間(H25～28年)で200社以上	B	ほぼ計画通りに推移している。  本年度予算において企業立地施策の充実・強化を図っており、目標達成に向け引き続き取り組む。
年間延べ宿泊者数		H25.7	429万人	H24年	438万人	H25年	449万人	H26年	417万人	H27年 速報値	年間延べ500万人以上(H28年)	C	大河ドラマ等により一定の誘客効果があったものの、500万人の目標と乖離がある。  目標達成に向けて、DMOのマーケティング、マネジメント力を高め、市町と連携した戦略的なプロモーション、受入環境整備に取り組む。
農林水産分野における「やまぐちブランド」の育成		H25.7	-		58商品	H25年度	66商品	H26年度	74商品	H27年度	100商品以上(H28年度末)	B	目標値の3/4に達し、順調に推移している。  生産者や関係者等と協働し、引き続きやまぐちブランドへの登録を推進する。
新規雇用創出数		H25.7	-		5,401人	H25年度	6,740人 (累計12,141人)	H26年度	6,591人 (累計18,732人)	H27年度 速報値	4年間(H25～28年度)で2.8万人以上	B	個々の計画の進捗状況に差はあるが、全体では、概ね計画どおりに推移している。  関係部局と目標達成に向け、引き続き雇用創出に向けた取組を推進する。

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移 C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト		設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析
指	標		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向
<b>個別指標</b>													
<b>重点戦略1 国際競争に打ち勝つ「瀬戸内産業再生戦略」</b>													
1 物流拠点港湾の機能強化P		H25.7											
年間石炭輸入量	H27.3	-		1,201万トン	H25年	1,174万トン	H26年	1,347万トン	H27年速報値	H20年代末までに1,400万トン	B	順調に推移している。石炭火力発電事業のための会社設立や大型船による共同輸送等、取扱い増に向けた取り組みが実現している。	
												国際バルク戦略港湾の整備に関する予算の確保に努め、石炭輸入量増加に向けた環境整備に引き続き取り組む。	
2 工業用水の安定供給P		H25.7											
島田川分水事業の進捗率	H27.3	-		-		4%	H26年度	14%	H27年度	H28年度末進捗率30% H32年当初の供用開始	B	H27年度は下松市側の導水管布設工事を早期発注するなど、計画通り順調に推移。	
												H32年当初の供用開始に向け、予算の確保に努め、計画期間内に導水管布設工事、トンネル工事を着実に推進する。	
渇水時追加給水可能量	H27.3	-		-		約170万m <sup>3</sup> /年	H26年度	約170万m <sup>3</sup> /年	H27年度	最大約170万m <sup>3</sup> /年	B	宇部丸山ダムへの送水ポンプ設置による貯水システムの運用、和田取水の川上ダムへの一時貯留や下松市工業用水による応援給水制度の効果的な運用により、渇水時の追加給水可能量を確保し、計画通り順調に推移。	
												渇水時に備え、各施設等において、追加給水可能量の確保に努める。	
3 物流等基盤の強化P		H25.7											
緩和する主要渋滞箇所数	H27.3	-		0箇所	H25年度	4箇所(累計4箇所)	H26年度	1箇所(見込)	H27年度	4年間(H25～28年度)で5箇所以上	B	H27年度は、国道190号小野田地区交差点改良により、1箇所です渋滞が緩和する見込み。(今年度検証予定)	
								(累計5箇所(見込))				予算確保に努め、目標達成に向け、引き続き取り組む。	
整備を完了する国道・県道の延長	H27.3	-		4.8km	H25年度	23.0km(累計27.8km)	H26年度	13.6km(累計41.4km)	H27年度	4年間(H25～28年度)で60km以上	B	県道美祢油谷線、県道宇部美祢線など13.6kmが供用し、順調に推移。	
												予算確保に努め、目標達成に向け、引き続き取り組む。	

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移 C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
4 戦略的な企業立地等の推進P	H25.7												
新規投資 (企業誘致・規模拡大投資)	H25.7	51件	H24年	54件	H25年	42件 (累計 96件)	H26年	48件 (累計 144件)	H27年	4年間(H25～28 年)で200社以上	(再掲)	—	—
5 産業インフラの長寿命化P	H26.7												
橋梁の長寿命化計画に基づく修繕 実施橋りょう数	H27.3	—		54橋	H25 年度	60基 (累計 114橋)	H26 年度	36橋 (累計 150橋)	H27 年度	H28年度末までに 170橋	B	H27年度は、36箇所 の修繕工事を実施 するなど、計画ど おり順調に推移。 予算確保に努め、 目標達成に向け、 引き続き取り組む。	
港湾施設の予防保全計画に基づく 改良箇所数	H27.3	—		1箇所	H25 年度	0箇所 (累計 1箇所)	H26 年度	0箇所 (累計 1箇所)	H27 年度	H28年度末までに 4箇所	B	平成27年度は、三 田尻中関港など3 箇所において岸壁 改良工事を実施し ており、計画どお り順調に推移。 予算確保に努め、 目標達成に向け、 引き続き取り組む。	
工業用水道関係:優先的に更新を 要する管路老朽化対策	H27.3	—		—		18%	H26 年度	22%	H27 年度	H28年度末進捗 率25%(優先的に 更新を要する延 長8km)	B	H27年度も宇部地 区の厚東川(2期) ルートバイパス工 事を実施し、22% の進捗率となり、 計画通り順調に 推移。 予算確保に努め、 目標達成に向け、 引き続き取り組む。	
6 コンビナート企業間の連携促進P	H27.3												
企業間連携による具体的な取組 の促進	H27.3	—		—		—	—	1件	H27 年度	実現件数 延べ3件以上	B	全県組織である山 口県コンビナート 連携会議が設置さ れるとともに、県 内3地域において 、企業主体による 検討が進められ ている。 検討されてきた取 組が具体的な成果 に繋がるよう、実 証事業等により取 組を加速化して いく。	
コンビナート企業間の有機的な結 び付きの維持・強化	H27.3	—		—		—	—	—	—	コンビナート企業 間の有機的な結 び付きの維持・強 化	B	岩国・大竹、周南 、宇部・山陽小野 田の各地域にお いて、企業間連携 の検討の場である 地域コンビナート 企業連携検討会議 が設置された。 さらに、検討を深 化させていくため 、各地域共通のテ ーマについて、地 域間相互の情報共 有、意見交換を実 施。	

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移 C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向
<b>重点戦略2 全国をリードする「医療関連産業育成・集積戦略」</b>												
1 医療関連産業クラスターの形成P H25.7												
医療関連分野での事業化件数	H25.7	-		0件	H25年度	1件	H26年度	4件 (累計5件)	H27年度	4年間(H25～28年度)で10件	B	<p>県補助金で採択している11件の研究開発が順調に進捗しており、今後の事業化が期待できる。</p> <p>本年度も必要な予算を確保しており、目標達成に向けて引き続き取り組む。</p>
<b>重点戦略3 次代を担う「水素等環境関連産業育成・集積戦略」</b>												
1 環境・エネルギー産業クラスターの形成P H25.7												
環境・エネルギー分野での事業化件数	H25.7	-		0件	H25年度	0件	H26年度	11件 (累計11件)	H27年度	4年間(H25～28年度)で10件	A	<p>目標は達成した。県補助金で支援している研究開発が概ね順調に進捗しており、更なる事業化が期待できる。</p> <p>本年度確保している予算を活用し、更なる事業化に努める。</p>
2 水素利活用による産業振興と地域づくりP H25.7												
水素ステーションの誘致	H25.7	-		-		誘致決定	H26年度	開業	H27年度	水素ステーションの誘致	A	<p>H27年8月、周南市内に中国・四国地方初の「水素ステーション」が開業した。</p> <p>「やまぐち水素成長戦略推進協議会」等を通じ、県内他地域への新たな水素ステーションの誘致に取り組む。</p>
水素利活用による事業化件数	H25.7	-		0件	H25年度	0件	H26年度	1件 (累計1件)	H27年度	4年間(H25～28年度)で6件	C	<p>県補助金で採択している2件の研究開発が順調に進捗しており、今後の事業化が期待できる。</p> <p>目標達成に向けて、本年6月補正予算において新規事業を創設することとしており、水素利活用製品の開発・事業化に取り組む。</p>
水素利活用によるスマートコミュニティモデルの創出	H25.7	-		-		-		-		水素利活用によるスマートコミュニティモデルの創出	B	<p>H27年4月、環境省の委託事業である水素サプライチェーン地域モデル実証に採択され、周南市及び下関市で実証に取り組んでいる。</p> <p>環境省の委託事業を通して、まずは周南市でモデル創出を目指す。</p>

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒して達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移 C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向
<b>3 再生可能エネルギーの導入促進P</b>												
再生可能エネルギーの発電出力	H25.7	-		547,057 kW	H25年度	712,125 kW	H26年度	集計中	H27年度	81万2千kW (当初56万6千Kw) (H28年度)	A	太陽光発電の導入が進むなど、平成27年12月時点の発電出力は82万kWを超えている。 H27.12で目標発電出力81万2千kWを達成。県の補助制度の活用等により、更に導入が進むよう取り組む。
EV急速充電器の設置数	H25.7	-		28基	H25年度	94基 (累計122基)	H26年度	12基 (累計134基)	H27年度	120基 (当初90基) (H28年度)	A	H27年度の新設は12基であり、国等の補助制度を活用した。 H26年度で目標基数(120基)を達成。継続して、補助制度を活用した普及に取り組む。
<b>重点戦略4 おいでませ！「宿泊者数500万人戦略」</b>												
<b>1 明治維新150年に向けた観光需要の拡大P</b>												
年間延べ宿泊者数	H25.7	429万人	H24年	438万人	H25年	449万人	H26年	417万人	H27年速報値	年間延べ500万人以上(H28年)	(再掲)	- -
				※国と精査・確認中								
<b>2 外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進P</b>												
外国人延べ宿泊者数の倍増	H25.7	4万人	H24年	4万人	H25年	6万人	H26年	8万人	H27年速報値	8万人 (H28年)	A	知事自らも現地でPRする等の積極的なプロモーション活動により、前倒して目標を達成した。(速報値ベース) 継続して、外国人観光客を山口県に誘客するための国内外での積極的なプロモーション、受入環境整備に取り組む。
<b>3 クルーズ船の誘致推進P</b>												
クルーズ船寄港回数の倍増	H26.7	-		12回	H25年	12回	H26年	19回	H27年	20回(当初15回) (H28年)	A	積極的な誘致活動の結果、当初目標としていた15回を1年前倒して達成した。第3次改定において、目標を年20回に上方修正し、更なる誘致実現を図る。 H28は8月13日までに既に18回の寄港を見込んでおり、目標達成に向け着実な誘致活動に取り組む。
大型クルーズ船(7万トン級以上定員1000人超)の県内初寄港の実現	H26.7	-		-		-		-		大型クルーズ船(7万トン級以上定員1000人超)の県内初寄港の実現	B	H27年度は岩国港において大型クルーズ船寄港に伴う船舶航行安全対策を策定。 港湾施設の改良を行うとともに、計画達成に向け引き続き誘致活動に取り組む。



「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒しで達成

B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移

C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
<b>重点戦略5 地域が輝く「農林水産業活力向上戦略」</b>													
1 「やまぐちブランド」等の販路拡大P													
	H25.7												
農林水産分野における「やまぐちブランド」の育成	H25.7	-		58商品	H25年度	66商品	H26年度	74商品	H27年度	100商品以上(H28年度末)	(再掲)	-	-
やまぐちブランド取扱店数(県外)	H26.7	-		19店	H25年度	21店	H26年度	41店	H27年度	4年間(H25～28年度)で70店以上	B	「ぶちうま売込隊」の売込活動やメディアを活用した効率的なPRにより、県外のやまぐちブランド取扱店数が倍増した。 首都圏の売込支援員との連携や新たな物流システムの構築により、取扱店数の上積みを図る。	
2 アジア等に向けた輸出拡大P													
	H25.7												
農林水産物の輸出による売込商品数	H25.7	-		7商品	H25年度	18商品	H26年度	30商品	H27年度	4年間(H25～28年度)で20商品	A	これまで取組を進めてきた台湾に加え、香港・上海にも販路を開拓したことから、前倒しで目標を達成した。 台湾・香港・上海を重点に、イタリアやTPP加盟国であるマレーシア・シンガポールでの販路開拓に取り組み、売込商品数の上積みを図る。	
3 6次産業化・農商工連携の推進P													
	H26.7												
6次産業化・農商工連携等による新商品開発件数	H26.7	-		-		19商品	H26年度	20商品(延べ39商品)	H27年度	4年間(H25～28年度)で50商品	B	全国に先駆けて整備した支援体制の下、平成27年度には20商品(延べ39商品)が開発されたところであり、目標達成に向け着実に推移している。 「やまぐち6次産業化・農商工連携サポートセンター」等と連携を図りながら、新商品の開発に向けた支援に努める。	
4 水産業振興基盤の強化・充実P													
	H26.7												
衛生管理型荷捌き所の整備	H27.3	-		2施設	H25年度	2施設	H26年度	2施設	H27年度	3施設(H29年度)	B	下関漁港において、南棟の実施設計と撤去工事の一部が完了した。 平成28年度は、引き続き撤去工事を行うとともに、道路の移設と南棟第1工区の工事に着手する。	

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移 C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
<b>戦略6 技術力のある「中堅・中小企業成長戦略」</b>													
1 技術革新や経営革新による中堅・中小企業の成長P H25.7													
経営革新計画目標達成企業数	H25.7	-		184件	H25年度	9件 (累計193件)	H26年度	8件 (累計201件)	H27年度	累計230件 (H28年度)	B	ほぼ計画どおりに推移している。 H28年度計画終了企業に対し、関係機関と連携し目標達成に向けた支援に努める。	
山口県技術革新計画を達成した企業の割合	H25.7	-		50%	H25年度	53%	H26年度	62%	H27年度	50% (H28年度)	B	H27年度計画終了企業4社すべてが計画目標を達成し、累計で計画終了企業21社のうち13社が目標を達成した。 計画期間中の企業11社が計画達成に向け取り組んでおり、引き続き支援を行っていく。	
2 建設産業の再生・強化P H25.7													
建設産業の技術者・技能者の若年者比率	H27.3	-		8.8%	H25年度	9.2%	H26年度	-		10% (H28年度)	B	建設産業担い手確保・育成協議会の開催、建設業出張セミナーの開催、女性技術者・技能者意見交換会の開催等の取り組みを実施。 建設産業担い手確保・育成協議会の開催等を通じ、計画達成に向け、引き続き取り組む。	
<b>戦略7 未来を拓く「やまぐち売り込み戦略」</b>													
1 首都圏等に向けた売り込み強化P H27.3													
首都圏における外部人材活用による商談件数	H27.3	-		-		-		392件	H27年度	600件 (H27~28年度)	B	計画通りに推移している。 新たに「やまぐち県産品東京売込オフィス」を設置して、売込支援員を配置したことから、こうした人材も活用して商談件数の増加に努める。	
関西圏における県産品商談件数	H27.3	-		-		-		456件	H27年度	800件 (H27~28年度)	B	目標達成に向けて順調に推移している。 商談会の開催等により、引き続き、商談件数の増加に努める。	

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移 C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向
新規投資 (企業誘致・規模拡大投資)	H25.7	51件	H24年	54件	H25年	42件 (累計 96件)	H26年	48件 (累計 144件)	H27年	4年間(H25～28年)で200社以上	(再掲)	— —
年間延べ宿泊者数	H25.7	429万人	H24年	438万人	H25年	449万人	H26年	417万人	H27年 速報値	年間延べ500万人以上(H28年)	(再掲)	— —
				※国と精査・確認中								
やまぐちブランド取扱店数(県外)	H26.7	—		19店	H25 年度	21店	H26 年度	41店	H27 年度	4年間(H25～28年度)で70店以上	(再掲)	— —
2 海外に向けた売り込み展開P		H27.3										
ASEAN地域等に向けた取組方針の策定	H27.3	—		—		—		策定	H27 年度	ASEAN地域等に向けた取組方針の策定(H27年度)	A	ASEAN地域や東アジア地域等への展開に向け、地域別・分野別の展開方針(重点地域等)や3つの戦略を掲げた「やまぐち海外展開方針」を平成28年3月に策定した。 —
農林水産物の輸出による売込商品数	H25.7	—		7商品	H25 年度	18商品	H26 年度	30商品	H27 年度	4年間(H25～28年度)で20商品	(再掲)	— —
外国人延べ宿泊者数の倍増	H25.7	4万人	H24年	4万人	H25年	6万人	H26年	8万人	H27年 速報値	8万人(H28年)	(再掲)	— —



「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒しで達成 B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移

C・・・目標達成には更なる取組強化が必要

D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析	
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向	
<b>戦略8 未来を担う「産業を支える人づくり戦略」</b>													
<b>1 ものづくり産業等を支える人材の育成P</b>													
	H25.7												
公共職業訓練受講生の就職率	H27.3	-		95.4%	H25年度	96.0%	H26年度	集計中	H27年度	現在の水準を向上	B	平成25年度の水準より向上している。 引き続き現在の取組を継続する。	
技能検定合格者数	H27.3	-		1,141人	H25年度	1,037人	H26年度	1,183人	H27年度	現在の水準を向上	B	平成25年度の水準より向上している。 引き続き現在の取組を継続する。	
職業教育技術顕彰受賞生徒(ハイレベルな資格を取得した生徒)の割合	H27.3	-		20.1%	H25年度	21.6%	H26年度	23.5%	H27年度	24% (H28年度)	B	平成27年度は、前年度に比べ1.9%増加した。 専門性の深化を図るために資格取得を一層奨励している。	
<b>2 産業を支える女性の活躍促進P</b>													
	H26.7												
就業率(25~44歳女性)	H26.7	-		68.2%	H22	-		-		71% (H27年)	-	(H27 国勢調査結果未公表) 子育て女性を対象に職場体験、短期研修、職業訓練等を実施し、再就職を支援する。	
やまぐち子育て応援企業宣言届出企業数	H26.7	-		632社	H25年度	70社 (累計702社)	H26年度	24社 (累計726社)	H27年度	780社 (H28年度)	B	年度替わり(H26→H27)の時点で期限切れの企業の脱落があったものの、H27の新規届出は74社であり、順調に増加している。 目標達成に向け、関係機関と連携しながら引き続き取り組む。	
やまぐちイクメン応援企業宣言登録企業数	H27.3	-		-		52社	H26年度	74社 (累計126社)	H27年度	300社 (H28年度)	C	着実に増加しているものの、想定を下回っている。 男性育児休業取得促進のための企業への奨励金や、H27に作成したシンボルマーク、PRグッズ等を活用し、一層の登録促進を図る。	

「やまぐち産業戦略推進計画」指標に係る達成状況等一覧

※達成状況の検証

A・・・目標を前倒して達成

B・・・28年度目標達成に向けて順調に推移

C・・・目標達成には更なる取組強化が必要 D・・・目標達成は困難

戦略・プロジェクト	設定時期	指標設定時点の現状値		平成25年度実績		平成26年度実績		平成27年度実績		平成28年度目標	※達成状況の検証	27年度(又は直近)実績の分析
		数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度			目標達成に向けた対応方向
<b>3 高度産業人材等の還流促進P</b>												
奨学金返還補助制度の活用による高度産業人材の確保	H27.3	-		-		-		22人	H27年度	年間20人	B	東京・大阪営業本部職員による大学訪問のほか、日本学生支援機構や山口大学の協力により目標値を確保することができた。 「地方創生枠」への対応を含め、引き続き効果的なPRを行い、対象者の確保に努める。
Uターン就職学生数(若者就職支援センター登録者)	H27.3	-		137人	H25年度	119人	H26年度	142人	H27年度	170人(H28年度)	B	大学との就職支援協定の効果もあり、Uターン登録者のうち、県内就職決定率が向上している 目標達成に向け、関係機関と連携しながら引き続き取り組む。
<b>戦略9 新たな地産地消開拓戦略</b>												
<b>1 コンクリート舗装の活用促進P</b>												
コンクリート舗装の施工延長	H27.3	-		1.2km	H25年度	0.4km(累計1.6km)	H26年度	0.8km(累計2.4km)	H27年度	4年間(H25~28年度)で3km以上	B	H27年度は、県が整備する山口宇部道路等において0.8kmを施工しており、順調に推移。 積極的な活用に努めるとともに、国、市町への普及を図るなど、目標達成に向け、引き続き取り組む。
<b>その他の取り組むべき施策</b>												
<b>1 コンパクトなまちづくりの実現P</b>												
コンパクトなまちづくりに資する計画策定市町数	H27.3	-		3市	H25年度	5市(累計8市)	H26年度	0市(累計8市)	H27年度	H20年代末までに8市	A	H27年度は、コンパクトなまちづくりに資する計画策定に未着手であった萩市が、新たに計画の策定に着手した。 H26年度までに目標としていた8市で計画が策定された。引き続き、市と連携して具体的な取組を着実に進めていくとともに、更に多くの市町が計画策定に取り組むよう、普及啓発活動に努める。